

カテゴリー	内容	具体例
a 課題発見・解決的	自分やチームの課題などの発見、課題の解決方法などを問う発問	「何ができるようになりたいのですか。」 「どんな課題があるのでしょうか。」 「課題を解決するにはどうしたらよいのでしょうか。」 「どうすれば、できるようになりますか」 「どんな練習が必要ですか。」
b 回顧的	既知・既習事項を想起させる発問、授業中について振り返る発問	「今、わかっていることは何ですか。」 「どんなコツやポイントがありましたか。」 「どんな工夫ができましたか。」
c 分析的	技術的な課題に関する分析を問う発問	「どんなコツやポイントがあるのでしょうか。」 「どちらの動きがよいと思いますか。」 「上手な人のよいところは何でしょうか。」
d 創意的・問題解決的	子どもが考えた運動の工夫や問題の解決方法を問う発問	「どんな工夫が考えられますか。」 「次はどのようにしたらよいのでしょうか。」 「友達に教えるとしたらどのように教えますか」 「どんな結果になると思いますか」
e 価値的	運動やスポーツの価値や態度的な価値、学習に対する主体的な態度決定について問う発問	「運動の楽しさって何ですか。」 「すばやく準備するためにはどうしたらよいでしょう。」 「スポーツマンシップとは何ですか。」 「何を学びましたか。」 「この運動ができるようになったら、どうなりますか。」
f 補助的	子どもの回答を受けて、子どもの思考の行き詰まりを助けたり、子どもの考えをさらに引き出したりする発問	「なぜ。」 「それは、どんな動きですか。」 「アイデアをたくさん出してみませんか。」 「例えばどういうことですか」 「他にどのような見方（考え方）がありますか。」 「今の意見に付け加えることはありませんか。」 「今までの話をまとめるとどうなりますか。」 「キーワードを使ってまとめましょう」